

平成22年度・広大マスタース市民講座報告 「はじめてのドイツ語」を終えて

岡崎 忠弘

90分授業隔週4回、多くは望めない。方針は2つ：(1)フランクフルト空港に降り立ったドイツ語初心者の日本人が乗る・買う・泊まる際に必要とする表現100余りの暗唱、(2)辞書検索のための文法の習得。実際は、30人余りの受講者の熱意を感じながらも、教え方に工夫が足りず、目標の7割ほどしか達成できなかった。

一過性ではモノにならない。講座のあともさらにドイツ語を独習し続けようという意欲を燃え立たせること、地道な努力を持続させるために、つまり、辞書が引けないがための挫折を防ぐために、ドイツ語独特の基本的なからくりを伝授して、「成長の種」を蒔く。

後半の「旅のドイツ語」もこの方針を貫きます。多数の参加をお待ちしています。



「はじめてのドイツ語」でのスナップ（原野昇撮影）